

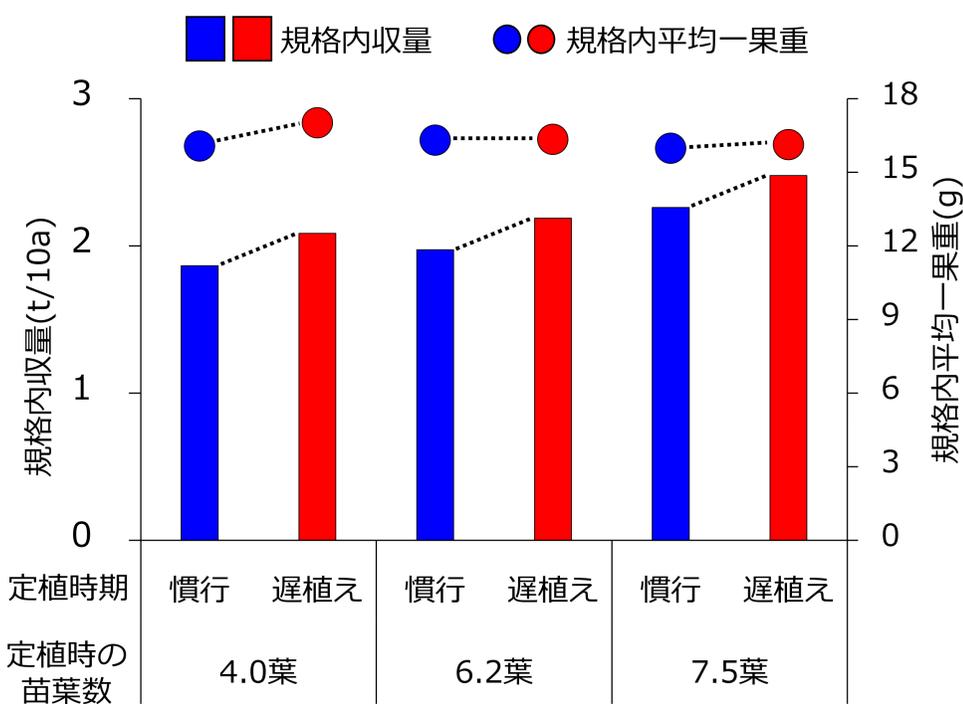
大きないちご「ゆきらら」の上手な作り方

概要 Abstract

大きな果実が収穫できる品種「ゆきらら」に適した栽培管理を明らかにしました。



成果 Results



- ・ 定植時の苗葉数が多い（苗が大きい）ほど、収量は増えます。
- ・ 「けんたろう」よりも10日程度遅植えすると、収量が増えます。
- ・ 大苗を遅植えしても果実のサイズは変わりません。

注) 花・野菜技術センターの3カ年の試験結果、慣行は道内で広く栽培されている品種「けんたろう」の定植時期

「ゆきらら」の栽培のポイントをまとめました！

定植期	各地域の定植期：道南9/6～9/15、道央9/1～9/10、道東北8/26～9/5
定植時の苗の葉数	葉数の多い苗を優先して選びます。
株間	30cmとします。
施肥方法	土壌診断に基づき「北海道施肥ガイド」に準じて決めます。
かん水方法	起生期から収穫始期までは1～2日に1回の割合でかん水を行い、pF値を1.8前後に保ちます。収穫始期からはかん水を徐々に控えます。
秋期の不織布べたがけ	増収効果が不安定であるため行いません。

普及 Dissemination

春どりいちご産地で「ゆきらら」を栽培する際に活用できます。

連絡先 Contact

花・野菜技術センター
 研究部 花き野菜グループ
 0125-28-2800
 hanayasai-agri@hro.or.jp